

明治七年甲戌一月

新聞雜誌

第百九十二號

一月二十日宮内省中エ詔書ノ寫

今般海陸軍費ノ爲メ新ニ祿稅ヲ設クルハ要スルニ國力ヲ強クシ人民ヲ保護スルニアリ朕モ亦マサニ自ラ簡約ニ從ヒ以テ其費ニ充ツベシ汝有司等斯旨ヲ體シ凡官中ノ用度ニ於テ務テ減省スル所アレ

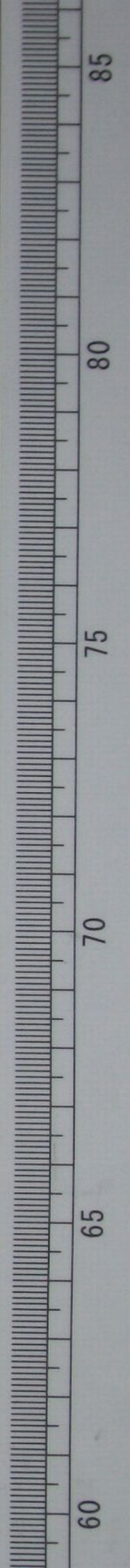
右ニ付官中御用途ノ内三萬六千圓年々兵備ニ充サセラル候旨被仰出タリ

二十五日 上弦

二十七日 安閑天皇 御祭
後花園院天皇

西垣文庫
文庫 10
7304
7

西垣文庫



○第八號正院達書）明治六年七月第二百五十六號布告違式註違條例ノ儀ハ各地方實際ニ適當候様斟酌増減致シ警保寮エ稟議シ自今其地方長官ノ名ヲ以布達可致此旨相達候事

但シ時宜ニヨリ警保寮ノ意見ヲ以斟酌増減等協議スベキ儀モ可有之事

文部省布達）第一大學區東京醫學校ニ於テ學業試験ノ上醫學豫料生徒百人入校差許候條入學志願ノ者ハ來ル九月三十日限リ管轄廳ヲ經テ同校エ可願出此旨布達候事

但年齡并ニ學料諸規則ハ明治六年當省第三十六號布達ノ通ニ條條此段添テ相達候也

○工部省布達）陸前國石卷港ニ於テ別紙第一號不動白色ノ竿燈ヲ設ケ來二月

一日ノ夜ヨリ點燈致候條此旨布達候事 別紙略之

○警保寮布達）近日府下盜賊公行シ放火頻リナル等ノ說アリ依テ各大區實地ノ報告ヲ檢スルニ火災盜難等去西十二月ニ比スレバ減少半ハニ過タリ是素ヨリ警邏嚴密ノ實効ナラン試ミニ見ヨ本月中報火ノ鐘聲ヲ聞ク事幾多ソヤ則前說ノ虛妄ナル辨ヲ待タズシテ明カナリ果シテ是落魄無賴ノ徒種々ノ流言飛語ヲ以府下ヲ動搖センコト謀ルモノナルベシ望ラクハ諸人實地ノ確報ヲ信シテ妄說ノ爲メニ惑ヲ懷カサランコト

○岩手縣下陸中國閉伊郡下附馬牛村奇特者ノ事ニ付區長米内某ヨリ同縣合エノ上陳書）同村農新田時藏（當二十三年八月）儀耕地二反二十步所持元來貧窶ニ相慕候得共志行奇特ノ者ニ御座候二歳ノ時父ハ貧窶ニ堪兼家元脫走于

今行衛相分ヲス其翌年母亦貧困ニ堪ヘズシテ里方エ引取強テ暇ヲ乞フ祖父母
 ニ於テハ貧困ノ際之ヲ拒ムノ權ナク遂ニ離縁ス因テ時藏僅ニ兩人ノ手ニ生長
 ス而シテ其實性ノ良實ナルコト已ニ尋常兒童ノ比ニ非ラズ未タ幾ナラスシテ祖
 父ハ脚疾ヲ患ヘ祖母亦眼病ニ罹リ其艱難困厄聞クモノ爲メニ哀マザルハナシ
 時藏方サニ十三歳日夜發苦スレモ唯其貧困醫藥ノ資ヲ得ルニヨシナシ因テ其
 所持ノ器具ヲ典賣シ以テ百方治療ヲ盡候得共其効ナク遂ニ廢人ニ相成リ然レ
 モ奄ニ餘命ヲ保シ候ハ郷里皆其孝養ノ致ス所ト謂フ祖父母既ニ廢疾ニ就クヤ
 時藏益勉勵生業相營ミ孝養情ヲサル央慶應丙寅ノ凶荒ニ遇ヒ僅々ノ耕田一粒
 ナ得ズ晝ハ人家ニ雇作夜ハ繩ヲナヒ席ヲ織リ以テ米粟ニ易ヘ祖父母ヲシテ凶
 年ノ憂ヲ知ラシメス十九歳ニシテ妻ヲ娶リ共ニ供養ノ道ヲ盡ス然ルニ明治己

巳ノ年亦々飢饉シ凍餒ノ情狀丙寅ノ年ニ倍セリ乃チ家内四人ノ糊口及ヒ難キ
 ナ見テ妻ヲ其里方ニ托シ身ハ一日一食日々蕨根ヲ掘リ市ニ販賣シ其得ル所ヲ
 以衣食ノ資ニ充テ亦凶荒ノ憂ヲ免レシム是其孝志大性ニ出ルニ非ズンハ安ソ
 能ク之ニ堪ンヤ其後年幾作ニ遇フト雖モ其身ノ粗食舊ノ如クニシテ時々酒肴
 ナ祖父母ニ供シ以テ其道ヲ致ス凡ソ十余年ノ久シキ其志行一日、如キハ僻遠
 ノ小民誠ニ奇特ノ者ニ御座候祖父本年八十二年五ヶ月祖母本年七十八年二ヶ
 月然ルニ其氣力今ニ至テ衰ヘズト同村戸長中申立ノ通申出候此段上陳仕候也
 ○前號ニ記載セル滑山隱史投書ノ續キ凡ソ耶蘇教猶太教ノ耶路撒冷ヲ神靈
 ノ地トシ回教徒ノ(メッカ)ヲ以テ靈地トシ婆羅門佛陀教徒ノ印度ヲ以テ聖
 地トシ儒者ノ支那ヲ中華トシ邦人ノ本邦ヲ元首トスル如キ何レノ國何レノ教

ニテモ眞ニ賢智ノ人ノミニ非レハ愚民ハ萬國同シク愚民ニテ其情強テ異ナル
トガシ決シテ像ヲ置ト置ケルトニ關セサル也余故ニ以爲ク民ノ惑源必シモ其
立否ニアラズシテ恐クハ奇瑞禍福ノ談ニ依ラン夫吉凶禍福ハ人心ノ最モ動ク
ヘキ所以ノ者ニテ命ニ安ンシ天ヲ樂ムハ識者ト云ヘモ猶難シ況ヤ愚民ニ向テ
吉凶ヲ主説トシテ其心ヲ動ス如何ソ變幻詭怪ノ談ニ惑ハザラン苟モ禍福ハ人
ノ自ラ招ク所ナリト諦視セシメハ何ソ必スシモ僥倖ヲ求ンヤ己ニ僥倖ヲ求ル
ノ心ヲ絶ス奚ソ靈驗奇瑞ノ説ニ奔迷セン彼歐洲開化ノ國ニ於ルモ兩約書ヲ以
テ教本トナセハ彼書所載ハ徹頭徹尾神親シク示現シテ災ヲ降シ福ヲ與ヘ聖靈
感格シテ病ヲ醫シ智ヲ明ニス等褒貶賞罰千態萬狀種々ノ怪異ヲ稱説スルニ至
テハ假令像ヲ置ザルモ愚民ノ實理ニ背反スル亦推テ知ルベキノミ若シ其偶像

ヲ立ザルノミヲ喜ビテ其禍福吉凶ヲ稱説スルヲ咎メス彼ヲ移シテ我ニ加ヘハ
我民ノ愚盲ナル其奇怪變幻ニ迷惑スル猶今日ヨリモ甚シキニ至ラン特リ本邦
淨土眞宗ナルモノアリ能ク此等ノ迷根ヲタナ能ク此民ヲシテ安立セシム曰ク
奇瑞靈驗ノ説ニ惑フコト勿レ吉凶禍福ノ談ニ動クコト勿レト占符呪ノ功ヲ恃ムコト
勿レ狐狸妖怪ノ説ヲ信スルコト勿レ汝ノ心思ヲ正フシ汝ノ行事ヲ慎ミ汝ノ精力
ヲ盡シテ汝ノ職分ヲ勤メヨ凡ソ今日ノ榮枯進退ハ皆汝ノ自ラ爲ズ所ニ依レリ
若シ汝自ラ盡シテ其功ヲ得ザルコトアラバ是汝ヲ橫虐スルモノ、所爲ニハ非ス
汝本來ノ福分ノ薄キニ依レリ汝ノ靈魂來世ニ苦ミ無ランコト欲セハ宜ク彌陀
ノ大智汝ヲ照鑑シ玉フヲ恐レ彌陀ノ大悲爾ヲ憐憫シ玉フヲ特ニ爾ノ既往ヲ愍
愧シ爾ノ將來ヲ慎ミ以テ現當二世ヲアママルコト勿レト是レ眞宗民ヲ諭スノ教

義ナリ苟モ此宗義ヲ以テ此人民ヲ諭ス奚ソ淳良誠實ノ俗ニ化セスシテ文明開
化ノ妨トナルベケンヤ惜哉宗徒暗昧積弊ヲ重襲シ動モスレバ教本ニ背反セン
トス宛モ明珠ヲ懷抱シテ空ク泥中ニ埋没スル者ノ如シ方今幸ニ又明ノ盛世ニ
屬ス宜ク汚弊ヲ洗濯セザルベカラサルナリ然而之ヲ一洗スル亦一旦夕ノ爲ス
ベキ所ニ非ス宜ク漸ラ以テ之ヲ開導スベシ昔ハ眞宗門中異義ヲ稱ル者アリ所
謂三業ヲ全備シテ以テ歸佛ノ徵トス曰ク身必ズ佛像前ニ出テ口必ズ佛ニ誦願
シ意必ズ佛ヲ專念スト是素ヨリ宗義ニ非レハ曩ニ法裁嚴然トシテ出ツ謂ク眞
宗ノ正義只佛願ヲ信樂スルニアリ何必シモ身口ヲ要セント復今日迷所ナカ
シム又宗典ニ曰ク木像ヨリハ繪像、ヨリハ名號ト蓋シ像ヲ主トセスシテ名
ヲ尊ベリ名ハ義ヲ詮顯スルノ物タレハ宗ノ極致ハ實ニ法義ヲ以テ主トスル也

故ニ像ヲ置テ禮敬スルハ佛ヲ信スルノ用ニハ非フ佛恩ヲ報スルノ的トスルノ
ミ又墳墓死屍ニ向テ禮敬スル如キ固リ宗規ノナキ所ニテ只親子兄弟ノ愛情ヲ
彼ニ向テ發スルノミ禮敬ノ的ハ毎ニ彌陀ニ向テナサルハナシ是眞宗古今ノ
通則ナリ然則論者云々スル所素ヨリ眞宗ニ關セザル者多シ只佛體ヲ立ルヲ無
益ナリト非スルニ至テハ之ヲ主トスルノ教義ニ非スト雖モ亦現ニ關係スル所
アレハ少シク之ヲ辨セザルヲ得ス到底之ヲ非議スルモ今日俄ニ行ハルベキニ
非レハ之ヲ喜ブ者ハ益憤リ之ヲ喜ハザル者ハ彌怒リ亦徒ラニ自他ヲ怨鬱セシ
ムル己ニテ却テ眞ノ教用ヲ播サシムルニ難カラン余ハ故ニ佛體ノ立否ヲ問ハ
スシテ專ラ教化ノ實ヲランヲ望ム凡ソ何教何宗ヲ問ハス此心有テ此民ヲ
諭サハ門戶暫ク異ナルヲアルモ何ソ眞正ノ教化ニ遠ザカランヤ云々

○海外新報) 過日ベルギー) ヨリ英國エ羊四百十三頭ヲ送リシガ此羊ハ尤モ
大切トセル上種ノモノナレモ病アルガ故ニ人間ノ健康ヲ害センコトヲ恐レ到着
ノ場所ニ於テ悉ク之ヲ殺セリト

○スコットランド) ノ北部洪水ノ爲メ鐵道橋破損シ火輪車ノ往來絶ハ人及ビ
商品ノ運輸甚ダ不便ナリト

○英國ノ一村ソンドスウナルツ) ニテ牛乳ノ賣人水ヲ混合セル乳ヲ賣ルノ罪
ニ依テ十ポンドニシルリング) ノ過料ヲ出サシメ二ヶ月間禁錮ヲ命ス又シー
ヒールド) ノ市街ニ於テ乳一ピント量目ニ付百分ノ二十五分水ヲ混ズルノ罪
ニ依テ五ポンド) ノ過料ヲ命シタリト

○英國ウエルベツキ街大火アリテ數萬金ノ價物ヲ燒滅シ加之最モ大切ノ製造

所々燒失セリト

○今般英領亞墨利加ノ「キングストン」ニ於テ一大石碑ヲ建立セリ是去年二
月八日英國蒸氣船アリードン號葡萄牙ノ海岸ヲ離レ「ギブラルタル」ニ掛ン
トスル時風波ノ爲メニ破船シ乗組ノ長官ヲ始メ悉ク溺死セリ因テ其各人ノ爲
メ碑面ニ人名ト危難ノ場所及ビ頌文ヲ刻シ以テ後世ニ遺シ靈魂ヲ祭ルト云

○ヘラルト新聞抄譯) 日本政府ノ施行スル所更ニ一定セズ余日本皇帝ノ爲ニ
僅ニ其一ニテ言ハン今日本ハ外國人ヨリ忠告ヲ受ルノ期至レリ總テ日本政府
ノ爲ス所開化ヲ目的トシテ爲セモ多クハ席上ノ論ニシテ言ヒ易ク行ヒ難キコ
ナリ在留ノ洋人種々ノ辭ヲ爲シ惡シク日本政府ヲ諷評スル者多シ日本政府ニ
テ誰レカ之ヲ裁決スルヤ唯正直ノ官人不正ノ傭官(洋人ナランカ)ヲ退ソケ

皇帝答ルニ朕ガ太政官ニ許多ノ正人アリ爾姦商何ソ朕ヲ利スルニ足ラント云
テ可ナラン乎皇帝備官ヲ用ヒズシテ舊故ノ正人ヲ用ユルキハ日本國民感戴シ
テ必ス眞皇帝ト云ン然ルキハ正人皇帝ノ股肱ト爲リ皇帝姦商ノ役スル所トナ
ラズ自カラ任シテ國政ヲ施行スルニ至ラン如斯爲サルキハ沼中ニ船ヲ浮ヘテ
岩石ニ觸ル、ノ恐レ有ランカニ云々

○英倫「ワークホールド」ニ於テ男女ノ幼稚學校ヲ開キ先頃己ニ礎ヲ數キタリ
此學校四百三十八名ヲ以テ定員トス建造入費三千八百三十八ポンドナリト云
○來ル四月上旬工學生徒撰擧ニ付出願ノ者試験可致候間有志ノ向ハ三月中規
則ノ適當寮へ願書差出可申候也

追テ規則書ハ當寮ニテ可相渡候間志願ノ者ハ可申出候也

工學寮小學校入學略則

- 一 工學寮ニ於テ小學校ヲ設ケ幼年生徒百人ヲ限リ華士族平下ヲ誦セズ往々工
學ニ從事セント志願ノ者ハ入校スルヲ許シ以テ工學六校ニ入ルノ階梯トス
- 一 生徒ノ年齢十二歳ヨリ十七歳ヲ限ル
- 一 毎月一日（日曜ナラハ二日）十五日（日曜ナラハ十六日）ノ兩日ヲ以テ其
體質ヲ檢シ入學ヲ許ス 但シ寄宿舎出來マテハ通學ノ事
- 一 生徒一員ヨリ毎月金二圓ヲ收納シテ書籍筆墨等ノ費用ニ充ツベシ
- 一 入校中校則ヲ犯シ或ハ不將ノ筋有之退學ヲ命スル者ハ教授費用一ヶ月金三
圓ノ割ヲ以テ保證人ヨリ上納セシムベシ
- 一 現時文部省ノ官學校ニ於テ習學ノ生徒ハ公私賃ニ不係當校へ入學不許尤

同省退學ノ許可ヲ得ル者ハ此限ニアラズ

追テ入學願ノ手續ハ工學寮へ申出候へ、略則書相渡スベシ

明治七年一月

工學助 林 董

一金時計 一個 但シホリカワニテ目アキ クサリビキ エトノ地板

セコントナシ 金カギ付 ヘビノクサリ付是ハ金マガエナリ

右ノ品去ル廿三日日比谷操練所東北ノ方入口御門邊ニテ取落シ候間自然拾
ヒ候御人エハ品代ノ半價差上申候間早々御報知被下候様御依頼申入候

神田淡路町一丁目一番地

西澤邦正

○本號一冊定價三錢 東京兩國藥研堀町 日新堂

編輯刷行管長 關 篤輔